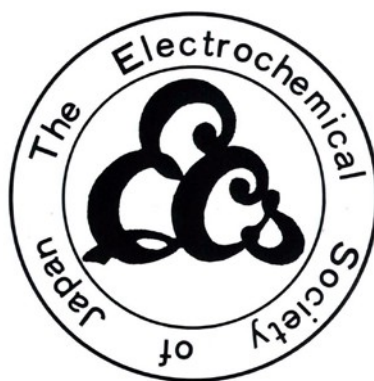


電気化学会北陸支部 維持会員加入のご案内



電気化学会北陸支部

令和2年1月

1. 電気化学会の紹介（※電気化学会 HP より抜粋）

本会は「電気化学に関する産業・学術の進歩発展を図る」ことを目的に、昭和 10 年（1935 年）2 月、通産省と文部省の認可により社団法人「電気化学協会」として設立されました。本会の使命は、電気化学の基礎と応用に関する研究の推進と、それを基礎とする産業技術の進歩を図り、学術文化の向上と産業の振興に寄与することです。

設立以後、電気化学も工業物理化学一般も、学問・技術の両面で飛躍的な進歩を遂げると同時に、わが国の産業を取りまく諸条件も多様な変化を見せた結果、本会のカバーする領域も、半導体など電子材料分野、さらには超伝導材料、電気自動車、燃料電池といった新材料や技術、またセンサ、生物工学なども網羅する学術上の広がりを見るに至り、これに鑑み平成 8 年、電気化学会へ改称いたしました。

また、社団法人電気化学会は平成 23 年 12 月 27 日付けで内閣総理大臣より公益社団法人移行の認定を受け、平成 24 年 1 月 4 日より公益社団法人として、新たに発足いたしました。

2. 北陸支部 50 年の歴史

（※引用：「電気化学会 60 年史」および「Electrochemistry 誌 展望（2011 年発行 79 巻 11 号 861 頁）」）

富山・石川・福井は昭和 34 年までは電気化学会中部支部に、新潟は関東支部に所属していました。北陸には豊富な水力発電による電力があり、この地の利を背景に電気化学関係の工場が多く、産業界と学会との接触も緊密でありました。このため、電気化学会中部支部内に北陸部会が設けられ、昭和 30 年秋には金沢で、32 年秋には富山で、34 年秋には福井で、中部支部北陸地方大会が盛大に開催されました。

次第に北陸支部設立の機運が高まり、昭和 35 年 7 月に、北陸支部の設立が本部幹事会・評議会で承認されました。続いて同年 10 月に北陸支部総会が開催され、支部規約の承認、新役員を発表、初代支部長に電気化学工業（株）谷口正夫氏をお迎えして、電気化学会北陸支部が発足いたしました。その後、企業関係者と大学関係者が交互に 2 年任期で支部長に就任することにより、現在の支部長に至るまで、電気化学会北陸支部の伝統を踏襲してまいりました。

3. 支部長挨拶

この度、平成から令和という新しい時代の幕開けに、令和元年・2 年度の電気化学会北陸支部長を拝命しました富山大学の阿部です。北陸地域の電気化学の発展に寄与すべく、微力ながら力を尽くす所存です。

電気化学会北陸支部は、新潟、富山、石川、福井の 4 県で活動する会員で構成されています。電気化学は、もともと工業的出口を視野に研究開発が行われてきました。その一方、近年では環境問題に関する世界的な意識の高まりから、二次電池、燃料電池、光触媒、バイオなど、持続可能な社会の構築に資する研究も分野を横断して活発に進められています。これに対し、北陸地域は豊かな水資源を基盤とした水力発電が豊富であり、その電力を利用した電気化学工業が古くから発達しています。また、電気化学に関する専門的な知識を有する技術者や研究者も多く、支部設立当初から産学が連携した融合・発展的研究が盛んに行われています。つまり、北陸は電気化学が根付いた地域であり、ここに属する北陸支部の各種活動は、規模は小さいながらも、電気化学の発展に大きな役割を果たすと言えます。このような志を基に、北陸支部の益々の発展と若手研究者の育成、及び支部会員相互の親睦に尽力していきます。今後とも、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4. 支部活動紹介

◇通常総会 1月

- ・総会 ・幹事会 ・懇親会

今年度 事業報告、会計報告

次年度 事業計画、予算案

次年度 春季大会・秋季大会案

その他 検討事項 等

※例年、富山市パレブラン高志会館
にて開催



(会議室) パレブラン高志会館 HP より

◇春季大会

- ・情報交換会
- ・シンポジウム1部
(若手の会・夜なべ談義)
- ・シンポジウム2部(講演会)
- ・幹事会



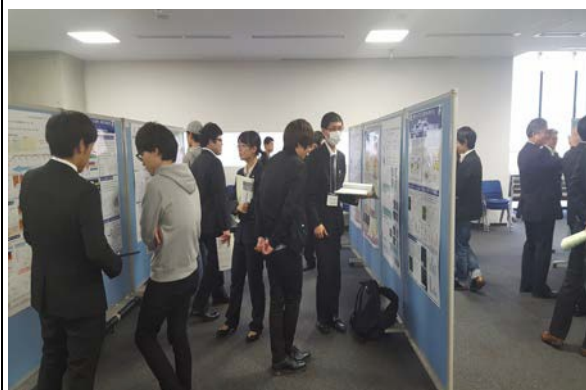
◇夏の学校

※支部より補助金支援
電気化学会関東支部主催
(1泊2日、学生対象)
招待講演、ポスター発表会、
ディスカッション



◇秋季大会

- ・研究発表会 (若手・一般)
- ・情報交換会
- ・幹事会



5. 幹事紹介 (平成31/令和元年～令和2年度)

支部長 : 阿部 孝之

(富山大学水素同位体科学研究センター 教授)

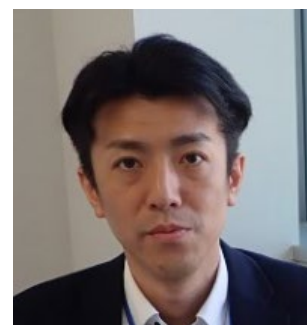
専門分野 : 電気化学、表面科学、触媒化学、水素同位体科学



総務幹事 : 萩原 英久

(富山大学 水素同位体科学研究センター 准教授)

専門分野 : 触媒化学、光化学



会計幹事 : 井上 光浩

(富山大学水素同位体科学研究センター 技術職員)

専門分野 : 材料科学 電気化学



6. 維持会員加入について

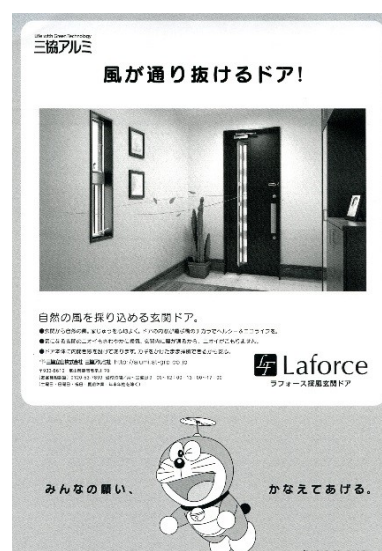
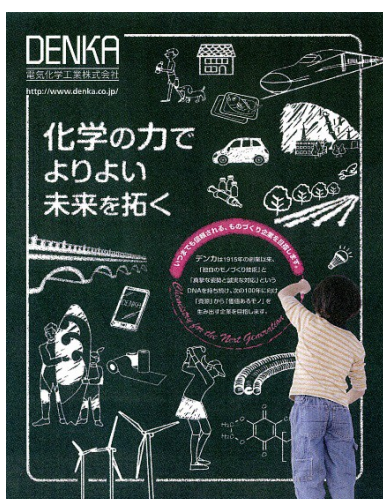
維持会費：

- ◆ 一口 10,000 円とし、口数の上限は定めない。
- ◆ 年度初めに銀行振り込みにて納入。

メリット：

- ◆ 電気化学分野の専門家よりアドバイスを受けることができる。
- ◆ 春季大会・秋季大会等の行事に参加し、ディスカッションできる。
- ◆ 北陸支部ホームページに支援企業としてリンク掲載される。
- ◆ 各大会の予稿集に企業広告を掲載できる。

(広告例)



7. 問い合わせ先

〒930-8555 富山県富山市五福3190
富山大学 水素同位体科学研究センター内
電話：076-445-6921 FAX:076-445-6931

総務幹事 萩原 英久 e-mail : hhagi@ctg.u-toyama.ac.jp

※電気化学会ホームページ URL : <http://hokuriku.electrochem.jp/index.html>

* 維持会員入会の問い合わせ、相談申込は、令和2年度支部長の阿部孝之までお願いします。

連絡先：〒930-8555 富山県富山市五福3190

富山大学 水素同位体科学研究センター内

電話：076-445-6921 FAX:076-445-6931

e-mail : tabe@ctg.u-toyama.ac.jp